

日本・トルコの中高校生が共に学ぶ

— 旭川医科大学でバイオメティクス国際交流プログラムを実施 —

旭川医科大学は2025年1月23日（木）、立命館慶祥高校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）プログラムの一環として、バイオメティクス（生物模倣技術）に関する特別講義および実験実習を実施しました。

本プログラムには、トルコからの生徒・教員・保護者18名と日本人生徒・教職員10名の計28名が参加。西川祐司学長の開会挨拶に続き、化学教室の室崎喬之准教授がバイオメティクスの基礎から医療技術への応用まで、最新の研究動向を交えた講義を行いました。

実験実習では、眞山博幸教授の指導のもと、参加者たちが実際に研究で使用する実験機器を用いて表面張力測定や接触角測定を体験しました。普段の授業では扱わない専門的な実験に、生徒たちは熱心に取り組みました。

プログラム概要

- ・ 実施日時：2025年1月23日（木）10:00-12:30
- ・ 場所：旭川医科大学 化学教室
- ・ 講師：眞山博幸教授、室崎喬之准教授、西川祐司学長
- ・ 参加者：立命館慶祥高校 SSH 生徒・関係者 28 名
(トルコ人 18 名、日本人 10 名)
SSH 担当：福田貴之 教諭（理科（化学）・SSH 推進機構 機構長）
- ・ 実施内容：講義（バイオメティクス技術）、実験（表面張力測定、接触角測定）

